

様へ

説明看護師(外来)
















看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる	術後合併症を起こさない 出血がない 疼痛が自制内で経過する	
検査	身長、体重測定		採血 レントゲン撮影
食事	※朝食はご自宅で(いつも通りの形態) 入院後流動食 夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用	帰室4時間後より 水分開始	昼より 五分粥食開始
	※		
処置・観察	リストバンドを装着 します(退院日まで)  弾性ストッキングの サイズを測定し お渡しします	点滴の針を留置します  朝 浣腸します  時間になれば、 看護師が手術室に ご案内します	手術後以下の挿入物、装 着物があります ・酸素カニューラ →術後3時間で取り 外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 取り外します ・尿道カテーテル → 取り外し、排尿を 確認します  創部を観察、処置を行います
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	持参薬、お薬手帳 を看護師にお渡し ください  以下を服用します ・昼→200mlの下剤 ・眠前→下剤	手術室で点滴を 開始します (手術が午後の場合は、 病棟で点滴を開始 します)	以下の点滴を行いま  ・持続点滴 → ・抗菌薬 → ・鎮痛剤 →
			以下を服用します ・緩下剤 → ・鎮痛剤 →
行動・リハビリ	シャワー浴 洗髪をします  制限はありません	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	午前中 全身清拭し、手術着からパ ジャマに着替えます  付き添いのもと、歩行を開始 します  尿道カテーテル抜去後は トイレで排尿できます
		翌朝までベッド上 安静です	
説明	医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について	医師より説明 ・手術結果について	
	病棟・手術室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について	看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法に ついて	
	薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		

\* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い、計画を見直します。 P 2 / 3

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日
経過	術後 2 日目	術後 3～4 日目	術後 5 日目	術後 6 日目 (退院日)
目標	出血がない 疼痛が自制内で経過する 排便コントロールが良好である 退院後の生活に不安がない			
検査		 レントゲン撮影		
食事	五分粥食	朝より全粥食	朝より常食	退院日は朝食のみ
	  	  	  	 
処置・観察	 創部を観察、処置を行います			
	<div style="border: 1px solid pink; padding: 5px; text-align: center;">                  状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります             </div>			
注射・内服	 以下を服用します			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩下剤</li> <li>・鎮痛剤</li> </ul>			
行動・リハビリ	 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります)			
	 制限はありません			 (退院日) 朝食後退院です
説明			 主治医より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について   看護師より説明 ・退院後の療養生について (退院療養計画をお渡しします)	

